

福岡大学病院で実施されている人を対象とする医学系研究に関する情報公開

整理番号

16-8-20

研究課題名

発熱性好中球減少症に対する予後不良因子の検討

研究責任者

呼吸器内科 助手 松本 武格

試料・情報の利用目的・方法

発熱性好中球減少症は抗癌剤治療の主な副作用の1つです。ただ、時々死亡することもあり注意が必要です。死亡例と生存例を比べることで予後不良因子を同定し、重点的に治療することで死亡をへらすことを目標としています。

研究期間： 開始日

病院長許可日

～

2018/3/31

(予定終了日)

試料・情報の項目

診療録、検査データ、画像データ

試料・情報の管理責任者

研究責任者：松本 武格

利用する者の範囲

研究責任者及び研究責任者が指名した研究者(福岡大学内)

他の研究機関への試料・情報の提供先：

※ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止しますので、下記へご連絡ください。

連絡先： 松本 武格

電話番号：福岡大学病院(代表)092-801-1011

福岡大学病院 病院長